

TOTO

洗面所用シングルレバー混合栓

TLC32型
TL432型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

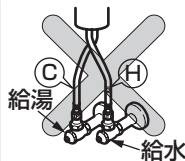


●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

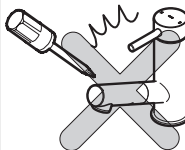
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



警告

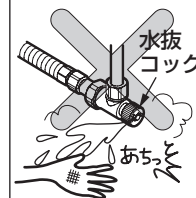


禁止

寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



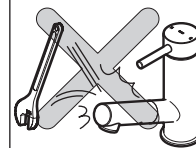
注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

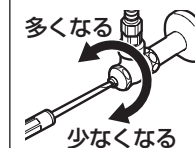


必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う

必ず止水栓にて流量を調節する

配管の給水圧が高いと水が勢い良く出すぎて、ご使用の際、水はねする場合があります。「8 点検項目」の「流量、吐水状態、吐水温度の確認」を参照し、調節してください。



2 仕様

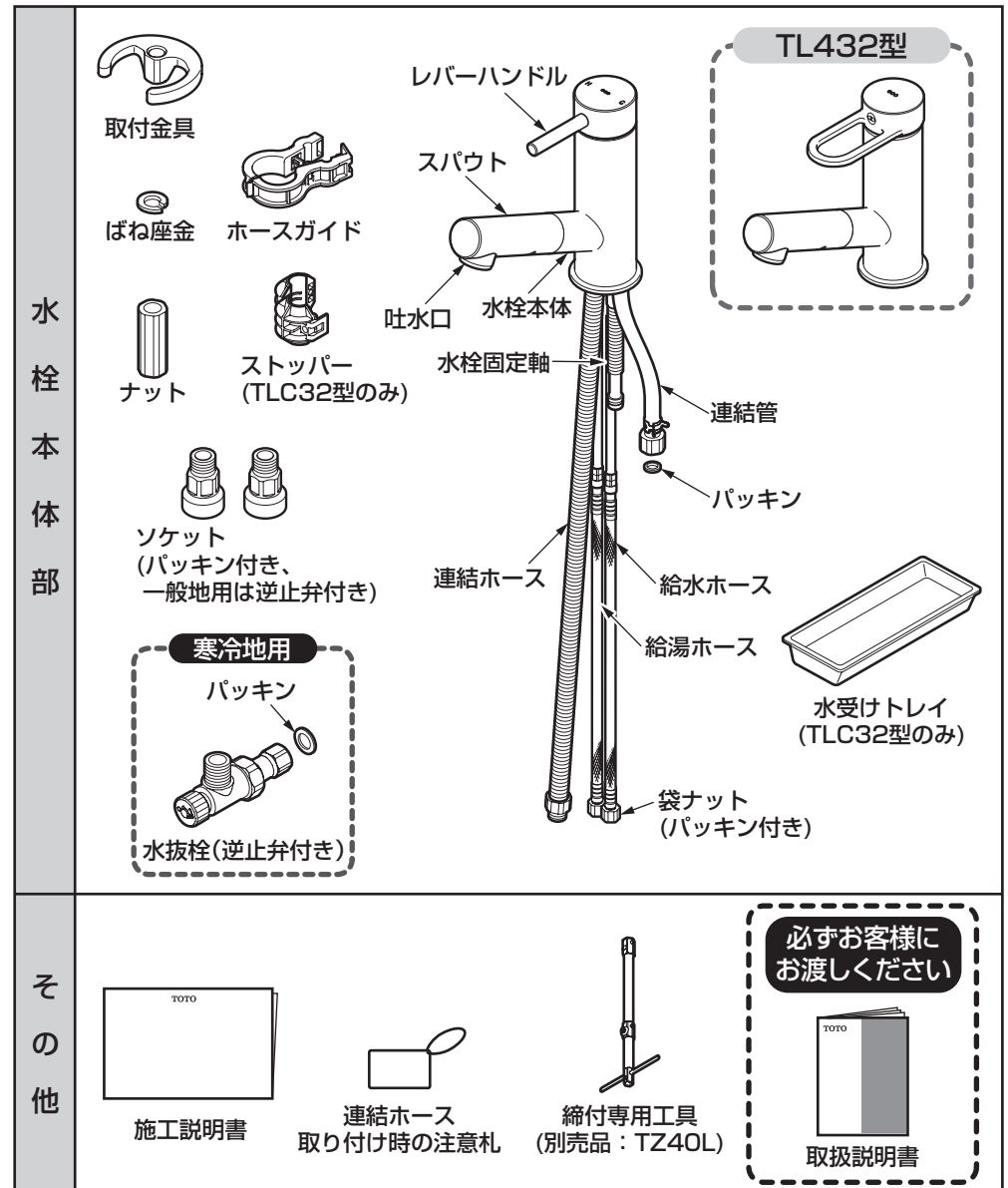
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 湯ぽっと（TOTO製洗面所用電気温水器）と組み合わせる場合は、電気温水器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。給水圧力が低いと吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。

4 部品の確認

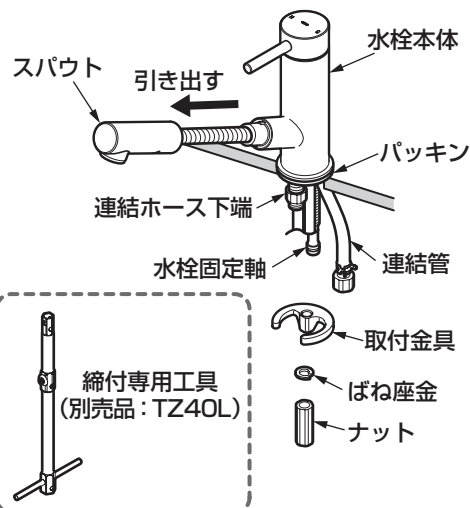
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

2 水栓本体の取り付け

- ①取付穴周囲の汚れを取る。
- ②スパウトを引き出し、連結ホース下端を右図の位置になるようにする。
- ③水栓本体を取付穴に差し込む。
- ④水栓固定軸に取付金具、ばね座金、ナットの順に通し、水栓本体が正面を向くよう締付専用工具にて仮固定する。



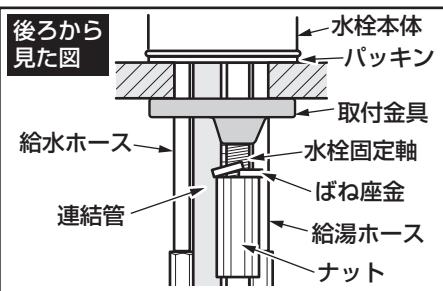
水漏れ注意

仮固定、固定には締付専用工具 (別売品: TZ40L) を利用して確実に締め付けてください。ねじがゆるんで水漏れにつながります。

注意

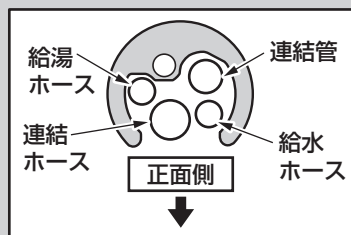


電動ドライバーは使用しないでください。破損の原因になります。



注意

- 取付金具を取り付ける際は、給水・給湯ホース、連結ホース、連結管が右図のように取付金具の中を通るように調整してください。
- 仮固定後、連結ホースがスムーズに引き出せることを確認してください。



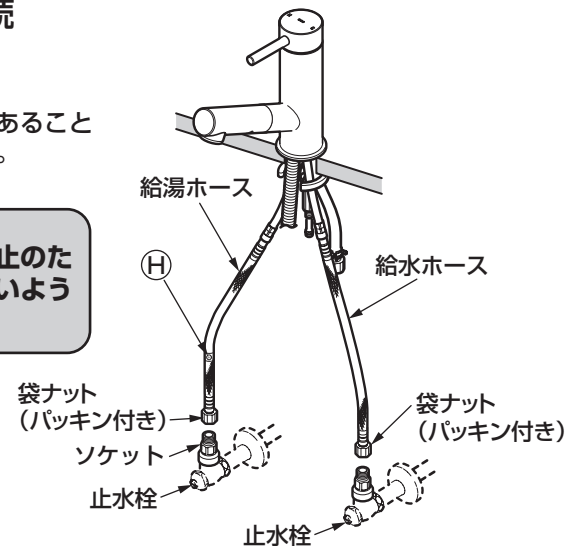
- ⑤仮固定後、連結ホースがスムーズに引き出せることを確認し、水栓本体を固定する。

3 給水・給湯ホースの接続

- ①ソケットを止水栓に固定する。
- ②給水・給湯ホースにパッキンがあることを確認し、ソケットに接続する。

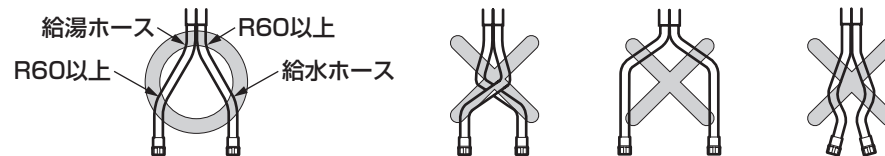
注意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



裏面へつづく

4 連結ホースの接続

一般地用の場合

- ① 連結管側の袋ナットを回して、連結ホースを連結管に接続する。

※この際、同梱の「**連結ホース取り付け時の注意**」の注意札を必ずホースに通してください。

水漏れ注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 締め付けの際は、工具（モンキーレンチなど）を使用して、確実に締め付けてください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ② ホースガイドに連結ホースが通るようにしてホースガイドを本体固定軸の溝にしっかり取り付ける。

寒冷地用の場合

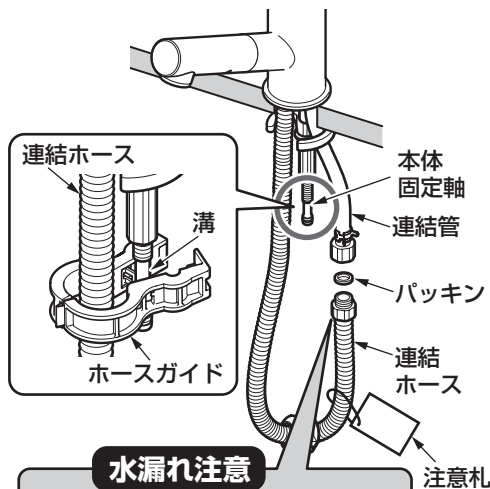
- ① 水抜栓を連結管に接続する。
- ② 水抜栓側の袋ナットを回して、連結ホースを水抜栓に接続する。

※この際、同梱の「**連結ホース取り付け時の注意**」の注意札を必ずホースに通してください。

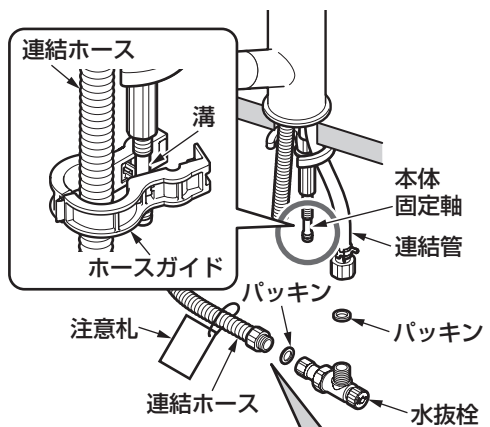
水漏れ注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 締め付けの際は、工具（モンキーレンチなど）を使用して、確実に締め付けてください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ③ ホースガイドに連結ホースが通るようにしてホースガイドを本体固定軸の溝にしっかり取り付ける。



水漏れ注意
接続時、絶対に連結ホース側のナットを回さないでください。内部ホースがよじれて、水漏れの原因となります。



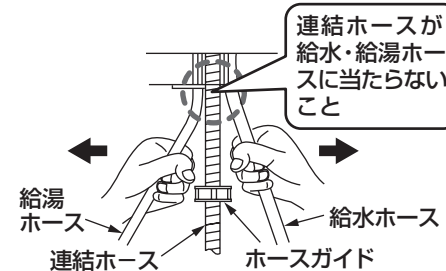
水漏れ注意
接続時、絶対に連結ホース側のナットを回さないでください。内部ホースがよじれて、水漏れの原因となります。

連結ホース施工上の注意点

重要

スパウトを引き出し、連結ホースがスムーズに動くか確認してください。

連結ホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースが連結ホースを押さえ込まないように、給水・給湯ホースを広げて施工してください。また、ホースガイドは必ず取り付けてください。

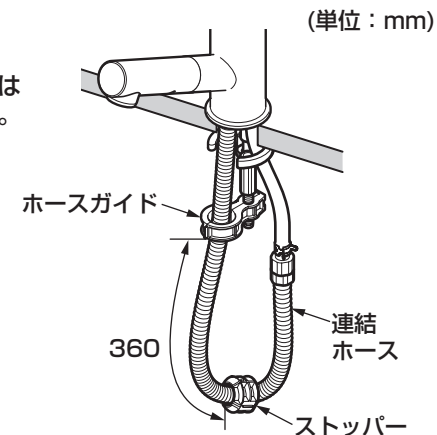
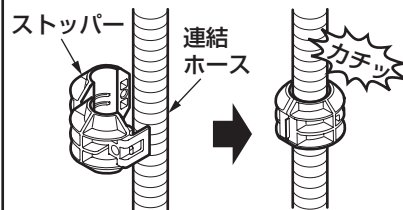


※TLC32型の場合は、**5**、**6**を実施してください。

5 ストッパーの取り付け

ストッパーを右図の位置に「カチッ」とはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがないときはストッパーを適当な位置にずらしてください。

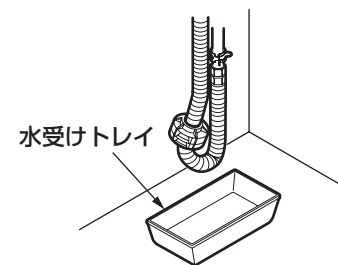
〈ストッパーの取付方法〉



6 水受けトレイの取り付け

水受けトレイは万一、ホースの伝い水がキャビネット内に落ちた場合の受け皿となります。

- ① キャビネット床面のごみ、ホコリを取り除く。
- ② 水受けトレイ底面の接着テープの紙をはがし、キャビネット床面に強く押し付けて固定する。
※できるだけ水栓本体の真下に設置してください。



7 水栓設置後の通水確認とフィルター掃除

水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

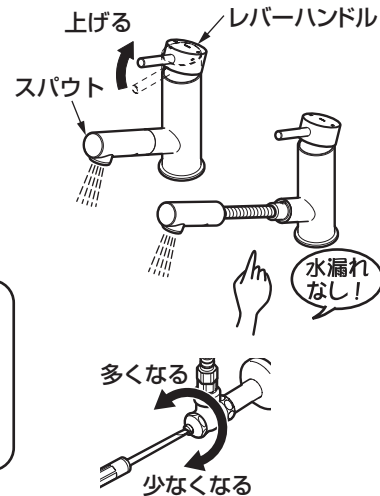
また、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認してください。

止水栓による流量調節を行ってください。

(8参照)

配管にある止水栓を回す。

止水栓の調節にマイナスドライバーなどが必要な場合があります。



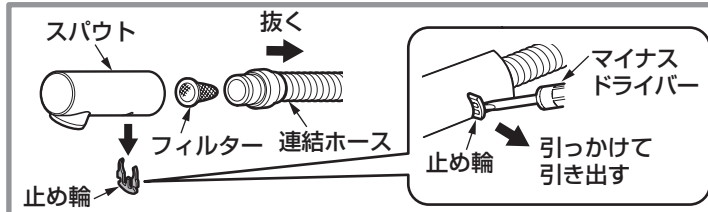
吐水口およびフィルターの掃除

水出し確認後は必ず吐水口およびフィルターを掃除してください。

吐水口およびフィルターが詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※吐水口およびフィルターを掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。また、連結ホースが熱くないことを確認してください。(詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

掃除が完了したあとは、接続部から水漏れがないことを確認してください。



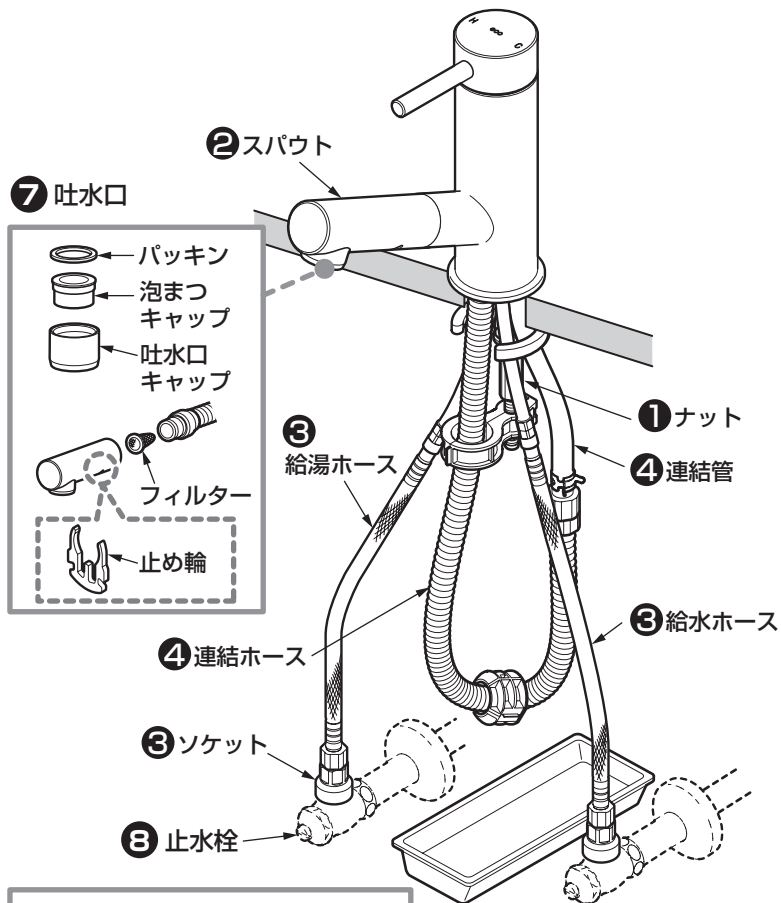
※フィルターを外したあと、連結ホース内に水を流してごみを取ってください。

使用上の注意

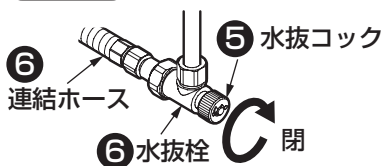
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。
流水音が大きいと感じる。	水圧が高いことや使用流量が多いことにより発生することが考えられます。流量を絞ることで流水音を低減できます。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



寒冷地用



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① ナットのゆるみはないですか？

↳ 6-2-2 「水栓本体の取り付け」参照

動作確認

スパウトがスムーズに引き出せるか、確認してください。

② スパウトは洗面ボウルの先端
付近まで引き出せますか？

↳ 連結ホースが止水栓や銅管に
干渉していないか確認する。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 給水・給湯ホースとソケット、止水栓とソケット
はしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-2-3 「給水・給湯ホースの接続」参照

④ 連結ホースは連結管に確実に締め付けられていますか？

↳ 6-3-4 「連結ホースの接続」参照

寒冷地用の場合

⑤ 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

↳ 水抜コックを閉める。

⑥ 連結ホースは水抜栓にしっかり接続されていますか？

↳ 6-3-4 「連結ホースの接続」参照

流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、
温度調節がうまくできない場合は、次の項目
を確認してください。

⑦ フィルター・吐水口のごみ詰まり
はないですか？

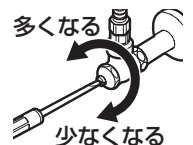
↳ フィルターの掃除をする。



↳ 6-4-7 吐水口および
フィルターの掃除 参照

⑧ 止水栓は開いていますか？

↳ 6-4-7 水出し確認 参照



最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にし
て各流量が6~7L/分程度になるように止
水栓で調節してください。

●8Lバケツの場合：約1分10秒で満水

●洗面ボウルの場合：約2分30秒で満水
(オーバーフロー)

9

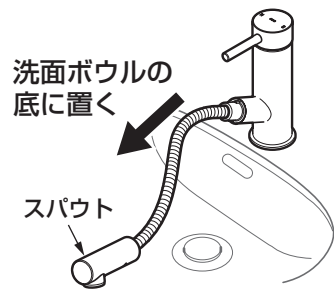
寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

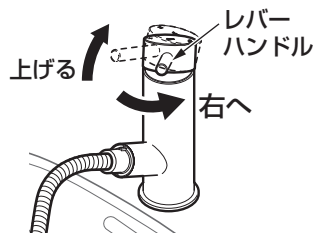
水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

重要

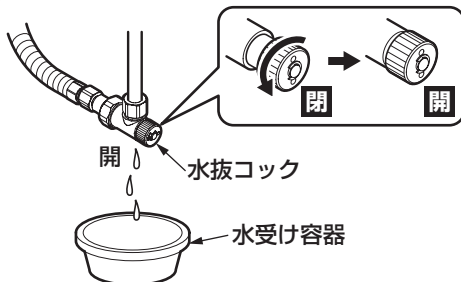
下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。



1. スパウトを洗面ボウルの底に置く。

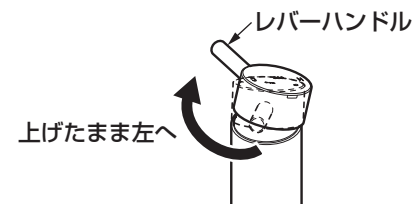


2. レバーハンドルを上げ、右側いっぱい回す。

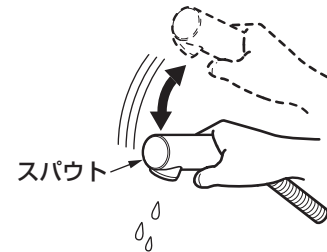


3. 水抜コックの下に水受け容器（洗面器など）を用意し、水抜コックを開ける。

●水抜コック：1カ所

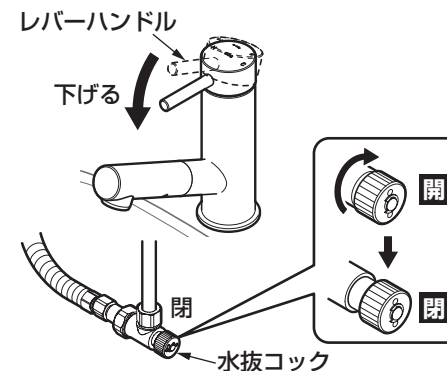


4. 水抜コックから水が出なくなったら、レバーハンドルを上げたまま左側いっぱい回す。



5. スパウト内の水を抜く。

スパウトを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



6. 水が抜けたら、スパウトを差し込み、レバーハンドルを下げて、水抜コックを閉める。（水抜き完了）

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。